



## 知的財産侵害物品の差止点数が 2 年連続 20 万点超え

(令和元年の東京税関における知的財産侵害物品の差止状況)

### 1. 差止点数が 20 万点超え

- 輸入差止件数は 5,402 件（前年比 24.6%減）、輸入差止点数は 220,612 点（前年比 0.5%増）となり、差止点数が 2 年連続 20 万点を超えました。

1 日平均で 15 件、604 点の知的財産侵害物品を差し止めていることとなります。

### 2. 中国来が依然として高水準

- 中国からの差止件数は 4,529 件（前年比 26.9%減、構成比 83.8%）、差止点数は 111,533 点（前年比 28.8%減、構成比 50.6%）となり、件数・点数共に平成 19 年以降、最大の仕出国となっています。

### 3. 知的財産別では商標権の差止点数が増加

- 商標侵害物品の差止点数は 158,233 点（前年比 19.5%増、構成比 71.7%）と 2 年連続の増加となりました。

### 4. 輸送形態別では郵便物の差止件数が 8 割超

- 郵便物の差止件数は 4,645 件（前年比 26.0%減、構成比 86.0%）となり、輸送形態の 8 割以上を占めています。安価な輸送費用や手続きの簡便さなどから、運搬具として郵便物が用いられる傾向にあります。

### 5. 健康や安全を脅かす危険性のある知的財産侵害物品が引き続き散見

- 健康や安全を脅かす危険性のあるトレーニング機器、電源アダプタ、化粧品、医薬品等の差止めが散見されました。

【お問い合わせ先】  
東京税関 税関広報広聴室  
TEL 03-3599-6264  
FAX 03-3599-6442

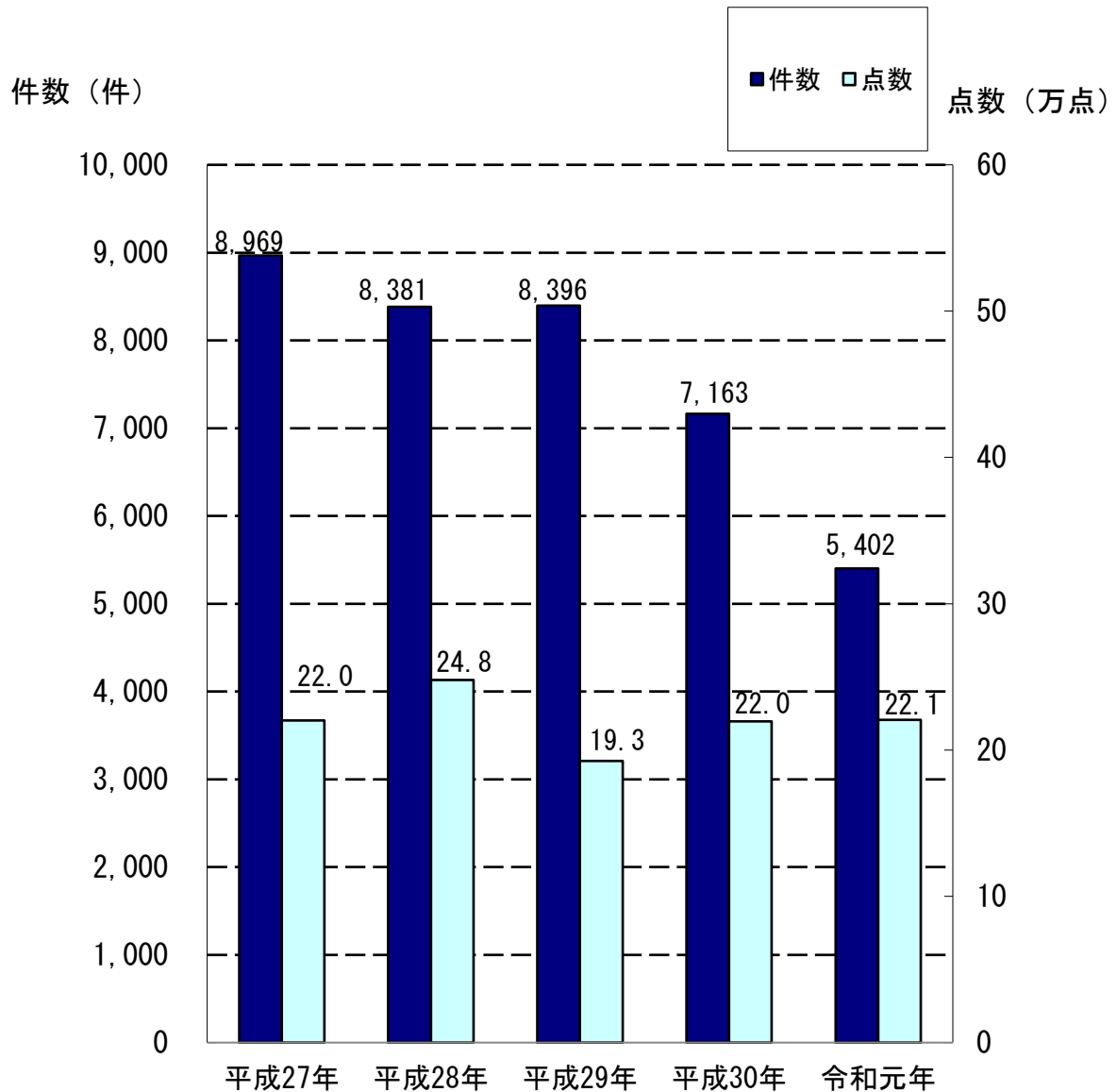
## 令和元年における知的財産侵害物品の差止状況（詳細）

「差止件数」とは、税関が差し止めた知的財産侵害物品の輸入申告及び郵便物の数です。

「差止点数」とは、税関が差し止めた知的財産侵害物品の数です。

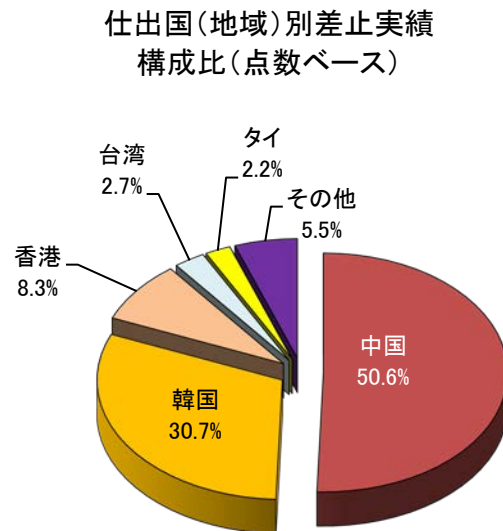
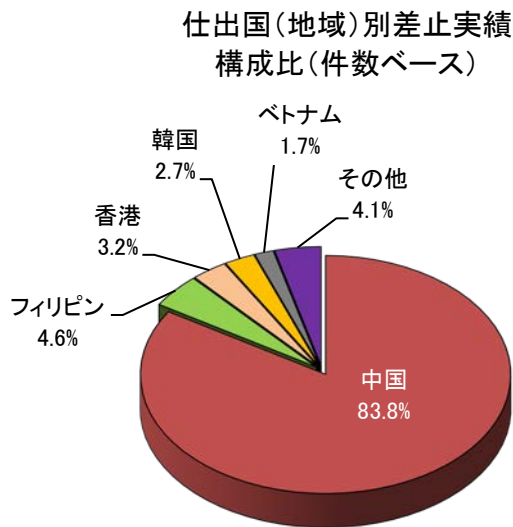
例えば、1つの輸入申告において、20点の知的財産侵害物品が含まれていた場合は、1件20点として計上しています。

### 知的財産侵害物品の輸入差止実績（平成27年～令和元年）



## ○仕出国（地域）別輸入差止実績

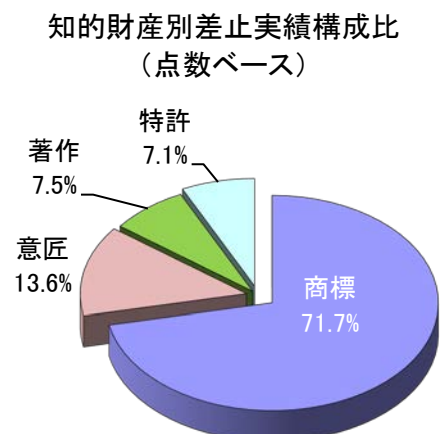
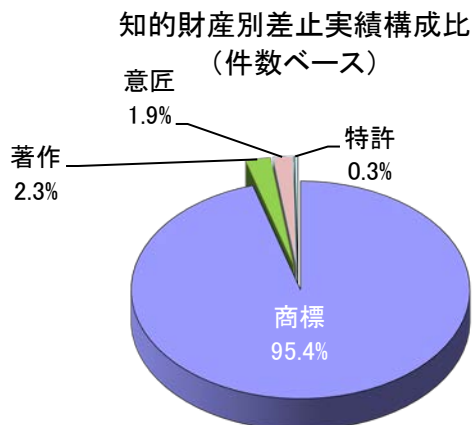
- 輸入差止件数は、中国来が 4,529 件（前年比 26.9%減、構成比 83.8%）、次いでフィリピン来が 248 件（前年比 22.7%減、構成比 4.6%）、香港来が 171 件（前年比 6.0%減、構成比 3.2%）となりました。
- 輸入差止点数は、中国来が 111,533 点（前年比 28.8%減、構成比 50.6%）、次いで韓国来が 67,718 点（前年比 2229.5%増、構成比 30.7%）、香港来が 18,374 点（前年比 63.3%減、構成比 8.3%）となりました。



(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が 100% とならない場合があります。

## ○知的財産別輸入差止実績

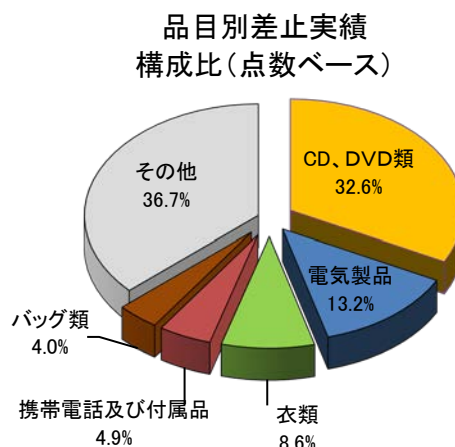
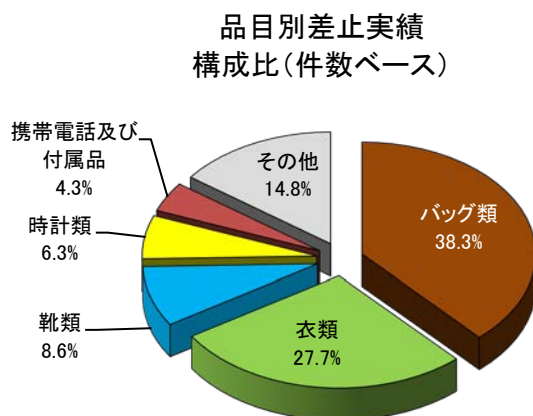
- 輸入差止件数は、例年同様、偽ブランドバッグ等の商標権侵害物品が 5,201 件（前年比 24.9%減、構成比 95.4%）で大半を占めています。次いでキャラクター関連商品等の著作権侵害物品が 127 件（前年比 100%、構成比 2.3%）、デザインを模倣した意匠権侵害物品が 101 件（前年比 36.9%減、構成比 1.9%）となりました。
- 輸入差止点数は、商標権侵害物品が 158,233 点（前年比 19.5%増、構成比 71.7%）、次いで意匠権侵害物品が 29,955 点（前年比 0.2%減、構成比 13.6%）、著作権侵害物品が 16,631 点（前年比 43.3%減、構成比 7.5%）、となりました。



(注) 四捨五入しているため、構成比の合計が 100% とならない場合があります。

## ○品目別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、バッグ類が 2,269 件（前年比 11.4%減、構成比 38.3%）、衣類が 1,644 件（前年比 21.1%減、構成比 27.7%）、靴類が 512 件（前年比 18.2%減、構成比 8.6%）となりました。
- 輸入差止点数は、CD、DVD類が 71,846 点（前年比 全増、構成比 32.6%）、電気製品が 29,189 点（前年比 0.8%増、構成比 13.2%）、衣類が 19,071 点（前年比 25.5%増、構成比 8.6%）となりました。

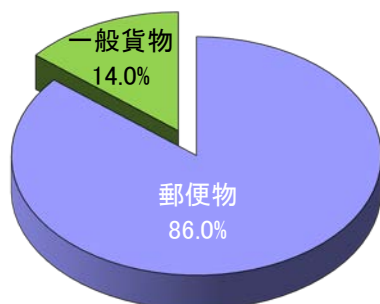


（注） 四捨五入しているため、構成比の合計が 100%とならない場合があります。

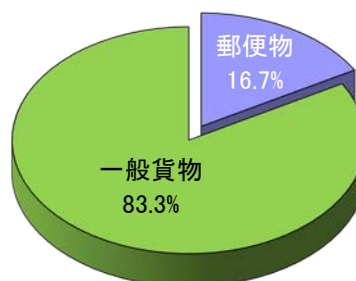
## ○輸送形態別輸入差止実績

- 輸入差止件数は、郵便物が 4,645 件（前年比 26.0%減、構成比 86.0%）、一般貨物が 757 件（前年比 14.8%減、構成比 14.0%）となっており、例年と同様に郵便物が大半を占めています。
- 輸入差止点数は、郵便物が 36,869 点（前年比 39.7%減、構成比 16.7%）、一般貨物が 183,743 点（前年比 16.0%増、構成比 83.3%）となっており、件数に反比例して一般貨物の割合が多くなっています。

輸送形態別差止実績構成比  
(件数ベース)



輸送形態別差止実績構成比  
(点数ベース)



（注） 四捨五入しているため、構成比の合計が 100%とならない場合があります。

## <トピック> 東京 2020 オリンピック・パラリンピック

### ①各種競技の代表ユニフォーム

日本代表の活躍で大いに盛り上がったラグビーワールドカップ。日本代表の快進撃と共に、日本代表や各国のユニフォーム（公式レプリカジャージ）等関連グッズの人気の高まり、模倣品も増加しました。販売方法を見ると、試合会場付近の路上で販売されているものや、大手ネット通販サイトで堂々と出品されているものもありました。

今年はいよいよ東京 2020 オリンピック・パラリンピックが開催されますが、ラグビー、サッカーなど、団体競技の各国代表ユニフォーム等の販売が予想されます。現時点では大会用のユニフォームが発表されていない競技もありますが、各競技開催中には模倣品の増加が懸念されます。

ユニフォーム等の販売が予想される主な競技



バドミントン 野球 ソフトボール バasketボール  
サッカー ハンドボール ホッケー ラグビー 卓球 バレーボール

### ②東京オリンピック・パラリンピックのメダルに要注意！！

聖火リレーも間近に控え、開催ムードが高まってきた東京オリンピック・パラリンピック。オリンピック・パラリンピックといえば、大会ごとにデザインが異なるメダルが話題になりますが、メダルの模倣品等が既にインターネット上のオークションサイトや、大手ネット通販サイトで散見されます。東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会によると、レプリカ等メダルに関する商品は一切製造していないとのことですので、**販売されるレプリカメダルは全て二セモノ（侵害品）**になります。

【オリンピックメダルの侵害品】

（（公財）東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会提供）



### ③東京 2020 オリンピック/パラリンピック公式ライセンス商品

最終的には 1 万点以上に及ぶといわれる東京 2020 オリンピック大会、東京 2020 パラリンピック大会関連商品（東京 2020 公式ライセンス商品）。今後大会が近づくにつれ、模倣品等は益々増えてくるものと思われます。税関ではこれら模倣品等の取締りを強化していますが、消費者の皆様も値段が著しく安いもの、販売者の身元が明確でないネット通販等には十分ご注意ください。



【ピンバッジの模倣品】

（（公財）東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会提供）

【権利化されている主なオリパラ商標】

	TOKYO 2020
(国際登録第 1026242 号)	(第 5626678 号)
	
(第 6008759 号)	(第 6008761 号)